

平成 24 年度市政モニター 第 2 回アンケート結果

テーマ 市史編さん事業について

総合政策部 市史編さん室

八王子市 総合政策部 政策審議室

目 次

目次	1
《市政モニターの属性》	2
テーマ【市史編さん事業について】	
（1）市史編さん事業の周知度	
問 1 市制施行 100 周年を知っていましたか	3
問 2 市史編さん事業を知っていましたか	3
問 2-1 市史編さん事業を何で知りましたか	4
問 3 市史編さん事業の講座や活動に参加したことがありますか	4
問 3-1 どの講座や活動に参加しましたか	5
問 3-2 どの講座や活動に関心がありますか	5
問 4 市史編さん室だより『稻荷山通信』を読んだことがありますか	6
（2）八王子の歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案	
問 5 八王子の歴史・民俗・自然に関心がありますか	7
問 5-1 特に関心の深い時代やジャンルは何ですか	7
問 6 過去の市史刊行物について知っていましたか、読んだことがありますか	12
問 7 『新八王子市史』に対する期待やその中で取り上げてほしい事柄や史料等	13
（3）市史編さん事業とまちづくりの関係	
問 8 八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かしたまちづくりを進めることで、八王子の魅力をアピールすることができると思いますか	17
問 9 地域コミュニティ育成のためには、地域の歴史・文化を知り、共有することが大切だと思いますか	18
問 10 まちづくりへの市民参加を進めるためには、市民が地域のことを知り、学ぶことができることが大切だと思いますか	18
問 11 市史編さん事業が、市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的の一つとして、期待することや思うこと	19
（4）刊行物販売推進のための参考項目	
問 12 『新八王子市史』が発刊されたら購入したいと思いますか	24
問 12-1 『新八王子市史』のうち購入したいと思うもの	24
問 12-2 『新八王子市史』の販売場所はどこを望みますか	25
問 13 市史編さん事業の刊行物を知っていましたか、また持っていますか	26
（5）資史料の保存と活用	
問 14 市史編さん事業終了後の資史料の保存・活用方法についてのご意見・ご要望	27
問 15 市史編さん事業に関するその他のご意見・ご要望	32

《 市政モニターの属性 》

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		27	27	73	68	100	95
性別	男性	12	12	40	38	52	50
	女性	15	15	33	30	48	45
年代	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	2	2	8	7	10	9
	30歳代	6	6	22	20	28	26
	40歳代	5	5	8	8	13	13
	50歳代	2	2	5	5	7	7
	60歳代	7	7	20	18	27	25
	70歳代	5	5	9	9	14	14
	80歳代	0	0	1	1	1	1
地区	中央 (本庁地区)	5	5	20	16	25	21
	西南部 (浅川・横山・館地区)	9	9	15	15	24	24
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	5	5	13	13	18	18
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	2	2	8	7	10	9
	東南部 (由井・北野地区)	5	5	12	12	17	17
	北部 (加住・石川地区)	1	1	5	5	6	6

※ アンケート実施期間：平成24年9月13日から9月26日まで

※ 回収率：95.0%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「〇割」、「0.1~0.9%」の場合は「ほぼ〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割弱」、「9.0~9.9%」の場合は「ほぼ〇割」との表記を基本とする。

※ 自由記述等については、通し番号でありモニター番号ではない。

テーマ 市史編さん事業について

総合政策部 市史編さん室

市史編さん室では、市制施行100周年（平成28年）に向けて八王子に関する歴史資料を収集し、新たな市史の編さんを進めています。これまでの編さん事業の成果として、『新八王子市史』を刊行するとともに、市民講座を開催するなど、編さん事業を通じて得られた成果を広く市民に周知しています。

今後の市史編さん事業の参考とするため、市政モニターの皆さんにご意見をおうかがいします。

（１）市史編さん事業の周知度

問１ あなたは、八王子市が平成28年に市制施行100周年を迎えることを知っていましたか。（○は1つだけ）

(n=95)

	構成比(%)
知らなかった	63.2
知っていた	36.8

市が平成28年に市制施行100周年を迎えることを知っていたか聞いたところ、「知らなかった」が6割強（63.2%）、「知っていた」が4割弱（36.8%）であった。

問２ あなたは、市制施行100周年の記念事業として、市が市史編さん事業を進めていることを知っていましたか。（○は1つだけ）

(n=95)

	構成比(%)
知らなかった	65.3
知っていた	34.7

市が市制施行100周年の記念事業として市史編さん事業を進めていることを知っていたか聞いたところ、「知らなかった」が6割台半ば（65.3%）、「知っていた」が3割台半ば（34.7%）であった。

問2-1 問2で「知っていた」と回答された方にお聞きします。何で知りましたか。
(○はいくつでも)

(n=33)

	構成比(%)
広報はちおうじ	90.9
市のホームページ	33.3
市史編さん室だより「稻荷山通信」	15.2
市史刊行物	12.1
その他	6.1

【その他】

- ・ 2012 ゆめおり会議
- ・ ケーブルテレビの「デイリー八王子」を観て

問2で、市が市史編さん事業を進めていることを「知っていた」と回答した方に何で知ったかを聞いたところ、「広報はちおうじ」がほぼ9割(90.9%)と最も多く、次いで「市のホームページ」が3割強(33.3%)であった。

問3 あなたは、市が市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
参加したことはないが、関心はある	71.6
参加したことはなく、関心もない	23.2
参加したことがある	3.2
無回答	2.1

市が市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことはないが、関心はある」が7割強(71.6%)と最も多く、次いで「参加したことはなく、関心もない」が2割強(23.2%)であった。

問3-1 問3で「参加したことがある」と回答した方にお聞きします。何に参加しましたか（〇はいくつでも）

(n=3)

	構成比(%)
市民講座	100.0
いちょう塾	33.3
野鳥観察会	0.0
調査活動への協力	0.0
その他	0.0

問3で市が市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に「参加したことがある」と回答した方に、何に参加したか聞いたところ、「市民講座」と答えた方が全員(100.0%)で最も多く、次いでいちょう塾と答えた方が3割強(33.3%)であった。

問3-2 問3で「参加したことはないが、関心はある」と回答した方にお聞きします。何に関心がありますか（〇はいくつでも）

(n=68)

	構成比(%)
市民講座	85.3
いちょう塾	50.0
調査活動への協力	39.7
野鳥観察会	33.8
その他	2.9

【その他】

- ・ 市の歴史（2人）

問3で市が市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に「参加したことはないが、関心がある」と回答した方に、何に関心があるか聞いたところ、「市民講座」と答えた方が8割台半ば(85.3%)で最も多く、次いでいちょう塾と答えた方が5割(50.0%)であった。

問4 あなたは、市史編さん室だより『稲荷山通信』を読んだことがありますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
ない	76.8
ある	21.1
無回答	2.1

市史編さん室だより『稲荷山通信』を読んだことがあるか聞いたところ、「ない」が8割弱(76.8%)、「ある」が2割強(21.1%)であった。

(2) 八王子の歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案

問5 あなたは、八王子の歴史・民俗・自然に関心がありますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
ある	83.2
ない	16.8

八王子の歴史・民俗・自然に関心があるか聞いたところ、「ある」が8割強(83.2%)、「ない」2割弱(16.8%)であった。

問5-1 問5で「ある」と回答した方にお聞きします。特に関心の深い時代やジャンルがあれば、具体的にお書きください。

1. 歴史

①歴史全般

- 1 歴史(4人)
- 2 太古から現代にいたるまでの歴史
- 3 八王子の歴史(3人)

②地域史

- 4 各地域の細かい歴史が知りたい。八王子市に住んでいても、なかなか地域の歴史がわからない。また、生き字引の高齢の方々が少なくなりつつある昨今、早急にまとめてほしい。
- 5 八王子の歴史に興味がある。特に自分の住んでいる地域の歴史を知りたい。
- 6 自分が住んでいるところの歴史。

③歴史上の人物

- 7 歌舞伎にも取り上げられている小栗判官の物語は、和歌山・岐阜・相模など地域連合体が形成され、そこに潜む中世の物語の奥深さが改めて見直されているが、八王子の横山党の一人、照手姫の父親とされる横山将監については地元で知る人が少ない。大変残念であり、八王子の中だけで満足するのではなく、他地域との連携の中で八王子の役割・時代背景も共有していきたい。
- 8 戦国時代に生きた松姫
- 9 千人同心・大久保長安
- 10 江戸時代の八王子、千人同心・大久保長安
- 11 近代史ではないのだが、旧16号線を走っていると、ちょうど日本工学院(東京工科大学)のあたりに大久保長安の看板を見る。八王子にゆか

りがあると看板で知っただけだが、有名な歴史上の人物でもあるので関心がある。

12 八王子千人同心・松姫

13 幕末、八王子千人同心の動向。奥州で戦いに参加したメンバー等（新撰組と比べてあまり知られていない）

④時代

14 戦国時代のことに関心があり、特に八王子城の歴史に興味があり、いろいろな本を読んだり、現地に何回も行っている。また八王子の歴史を知る上で郷土資料館のボランティアガイドもやった。

15 戦国時代（3人）

16 ・江戸より前の時代

・戦時中のことなど

17 ・中世 特に北条氏照の時代

・近世 幕末の時代？

18 江戸時代以降の八王子の歴史

19 ・江戸時代

・今の町名のいわれがこの時代とどうつながっているのか。

20 ・徳川時代の街道宿として地理的に果たしてきたこと

・幕府政治と八王子がかかわった役割、その人物群像の物語

21 明治維新の頃の八王子市の様子。時代が変わっている時の、八王子市の変化。

22 明治～第二次世界大戦に特に関心がある。

23 明治以降の現代史

24 ひとつは、地名「八王子」が定められた時代と当時の生活模様。もうひとつは、昭和前期（10年代～30年代）を中心とする「八王子・現代史」。

25 戦災の記録を詳しく。できれば被災地図を米軍の資料と比較して、わかりやすく。現代に残っているものの紹介も。（例：浅川地下壕、湯ノ花トンネル、大和田橋の焼夷弾、高尾駅の鉄骨の跡、日本機械の製糸工場等）

26 戦後の歴史について。どのように復興して現在の姿になったのか。その変遷をもっと詳しく知ってみたい。

27 私たちが育った昭和の時代（戦後）。現代のように物質的に豊かな時代ではなかったが、今よりも活気があったし精神的にも豊かな時代であったと思う。

⑤八王子城

28 ・八王子という名前の由来

・八王子市内のお城の歴史

29 八王子城・千人同心

30 八王子城址

31 八王子城について

⑥テーマ史

33 ・八王子の生い立ち

・八王子が生んだ著名人と内容

34 地名（町名）がどのような由来でついたのか興味がある。

いちばん最初にこの地域に住んだ人が どのように生計を立て、どのよう
にこの地域が栄えたのか 産業や流通の面から知りたい。

35 昔、八王子は織物の街だと聞いたことがあるが、恥ずかしながら実際
どのような前身から発展したのかを知らないの、どのようにして特産
物ができ、町が発展していったのかを知りたい。つまり、八王子の起源
について興味がある。

36 古代から中世にかけては、これといって特徴のない時代であると思う。
他の地域も同様だが、大きな古墳や生活の変化をあらわす変わったもの、
珍しいものがなければ、歴史の教科書で出てくる範囲で、理解ができる。
そのため、具体的な説明があまりなくてもだいたいわかる。

しかし、中世半ばから、近世、近現代にかけては、政治の中心が移っ
てくるという面においても、町が繁栄するきっかけをつくっているため
に、非常に興味がある。変化をするということは、大きなきっかけがな
ければなかなかありえることではない。そうしたきっかけが何であった
のかとても気になる。

特に東と西の往来において、重要な交通の要所となっていると私は考
えているので、街道を初め、道路網などの交通の整備についても興味
があり、鉄道網などの整備に当たるまでの、土地的变化なども興味がある。

また、私は八王子出身ではないので、八王子市内を歩いたりする時に
よく見かけるのだが、他地域にはない名字などがあるので、どのような
家系のものなのかすごく表札を見るたびに気になっている。

37 明治初期の絹の道

38 シルクロード

39 明治時代の絹の産地としての八王子市の業者の活躍など。八王子市に
「絹の道」があるが、この街道が果たした役割について関心がある。

40 鑓水商人と横浜までの浜街道

41 ・明治期の殖産興業

・横浜との関係

42 ・絹織物全盛期

・市電と京王線多摩御陵線

43 ・桑都としての八王子

・八王子と科学・技術

・防空壕や地下工場のその後。

44 八王子市は織物の町としても有名だったが、商工会議所のイベントで
織物工場など見学し、とても興味深かったのが主婦や子どもが身近に感

じられるジャンルで学ぶ機会があればありがたい。

- 45 江戸から近現代にわたる八王子地域の織物などの歴史。デパートの撤退はなぜ起こったか。織物工場はなぜ残れなかったのか。
- 46 交易、製造業
- 47 八王子の産業の歴史
- ・1917年市制施行当時の主な産業や多摩地域で先行して市制施行を果たすための取り組み等。
 - ・太平洋戦争前後に誘致した産業とその盛衰。そして産業誘致のために市として整備した主なことと誘致産業選定と誘致手段並びに結果の分析など。今後の市発展に役立つ資料として残してほしい。
- 48
- ・八王子の産業史と人々の生活について
 - ・八王子市と市議会の活動について。
- 49 江戸時代以降の農業・製造業等、地場産業について
- 50 江戸時代の人々の暮らし
- 51
- ・近代史における、八王子市内の鉄道及び道路交通網の整備発達
 - ・明治～現在の産業史
- 52 八王子の交通の歴史
- 53
- ・資料館にある機織り機はとても関心がある。詳しく女性の方が丁寧に説明したが、デモをすれば？
 - ・東京オリンピック記念の自転車レースの記念碑がとてもさびしい、管理できると良い。
- 54 今、政治的に不安定な立場な日本、また世界でもデモが起こったりしている。最悪な戦争ということになったらどうしようと思ってしまう。昔の戦争を起こしたときの愚かな考え方などを思い起こし、平和なつながりを大切にしたいと強く思う。人が争うということを取り上げてほしい。

2. 民俗

- 55 八王子の民俗（2人）
- 56 八王子の民俗（とんと昔話の様な民話）
- 57 地元の民俗芸能
- 58 民俗については、「衣服」に関心がある。どんなデザイン、素材だったのか。そしてどんな人々がいて、どんな暮らしをしていたのかも気になる。
- 59 民俗芸能、織物

3. 自然

- 60 自然
- 61 自然の分野
- 62 自然や植物など

- 63 自然や環境に関するところ
64 環境問題や自然保護にやや関心がある。
65 環境保全、景観の保全
66 八王子の自然について
67 八王子は自然が豊かな土地であると思っている。どのような動植物が生息しているか関心がある。
68 八王子の自然を良い形で残していきたい。
69 八王子といえば自然がたくさんあるところ、というのが市民にとっても市外の人にとっても、ほぼ当たり前のような認識になっているが、最近では自然破壊が言われているし、実際の八王子の現状はどうか少し心配である。良くて悪くても現状の報告などがあるとありがたい。
70 八王子の貴重な自然を、現在に至るまでどのように保存してきたのかという過程。
71 八王子市の自然（高尾山含む）に興味がある。
72 八王子の自然と植物（とくに高尾山）
73 高尾山の自然（3人）

4. 歴史・民俗・自然にまたがるもの等

- 74 地方出身なので、全般的に関心がある
75 世界や日本に対して自慢できる八王子の歴史・文化・自然等
76 八王子市による自然管理の歴史と展望
77 八王子の歴史と自然
町としては完全に立川市に負けた様であるが歴史と自然において八王子は多摩地区ではダントツである
78 八王子は都心にはない自然が豊かであり、歴史もあるので、その自然がもつ歴史も知りたい。
79 八王子の生活ぶりや自然とのかかわり
80 高尾山の信仰

問6 これまで、市及び市議会が発刊した市史刊行物としては、『八王子市史』（昭和38～43年刊行の旧版）、『八王子市議会史』、『八王子千人同心史』、『八王子の空襲と戦災の記録』があります。

あなたは、これらの書籍について知っていましたか。また読んだことがありますか。（○はそれぞれ1つだけ）

(n=95)

	構成比(%)			
	知らなかった	知っていたが、読んだことはない	読んだことがある	無回答
八王子市史（昭和38～43年刊行）	60.0	26.3	13.7	0.0
八王子市議会史（昭和63～平成2年刊行）	68.4	28.4	3.2	0.0
八王子千人同心史（平成4年刊行）	53.7	33.7	11.6	1.1
八王子の空襲と戦災の記録（昭和60年刊行）	54.7	30.5	14.7	0.0

これまで、市及び市議会が発刊した4種の市史刊行物について知っていたか、また読んだことがあるか聞いたところ、すべての刊行物で「知らなかった」、「知っていたが、読んだことはない」、「読んだことがある」の順で割合が多かった。

また、4種の刊行物のうちで「読んだことがある」の割合が最も高かったのは、『八王子の空襲と戦災の記録』で、1割台半ば（14.7%）であった。

問7 市史編さん室では、市史編さん事業の成果として『新八王子市史』全14巻を順次刊行しています。(本年3月に全14巻の第1号として「資料編5 近現代1」を刊行し販売しています。)この『新八王子市史』に対する期待や、『新八王子市史』で取り上げてほしい事柄や史料等があれば、お書きください。

1. 『新八王子市史』に対する期待

- 1 全14巻と実に大がかりな事業としてその完成を期待している。
これだけの事業に人とお金がどれだけ投入されているのかよくわからない。是非、全体の予算額を開示してほしい。
- 2 実際、手にとって見たことがないので実感がわからないが、深く読んでいけば興味がわいてきて、もっと知りたくなると思う。
- 3 行政としての「記録」保持は後世に残す責任だ。
- 4 とても興味がある。ことに発売中の「資料編5 近現代1」には強い関心を感じる。購入の余裕はないので図書館で読みたいところだが、その時間がなかなかつukれない。
- 5 八王子の歴史等を知る事ができ、読むのが楽しみだ。
- 6 たくさんの方が読みたくなるような話題性のある市史ができるよう期待している。
- 7 八王子に住んで20年あまりだが、知らないことが多すぎると痛感した。是非、市の歴史を知りたいと思う。
- 8 市内だけでなく、市外の人にとっても「八王子ってどういう街なのか」。市史を見ることで丸わかりというくらい、身近でわかりやすく、興味を持てるものであってほしい。正直、住んでいても知らない事が多いし、友達に説明しようとしても難しいのと、やはり私自身も知って理解したい、知ってもらいたいという気持ちはあるので、市史がそういう役割も担っていたら良いと思う。
- 9 八王子の市史についてはあまり興味がなかったが、新しい市史が刊行されるのであれば是非とも読んでみたいと思う。

2. 『新八王子市史』で取り上げてほしい事柄や史料等

①取り上げてほしい個別の事柄

- 10 八王子の商業(デパートの出店歴)
- 11 昔の地図のコピーをこの間もらった。今とは違ってとても興味深く見た。
子供の頃、親たちに聞いた話など載っていると良いと思う。
- 12 ・生物について:八王子は自然が多く野鳥も多数の種類が現在も生息していると思うが、過去にはこの地域に生息し、今はいなくなってしまった鳥などがあれば知りたい。またそのきっかけになった災害などがあれば、あわせて知りたい。
・産業について:もともとどのような産業を行っていて、それがどういう理由でどのように変化したのか。農産物の変化も知りたい。
・市政について:この地域を、どういう人物が治めてきたのか。その移り変わ

りとその人物像を知りたい。

・災害の歴史：大きな災害に遭ったとき、どのようにそこからのがれ、復興したのか知りたい。

13 八王子の人々が、どんな生活、食事をしてきたか知りたい。

14 住んでいる町、各町の誕生やこれまでの出来事（歴史）

15 昭和30年4月1日に合併した「旧横山村」の住民だが、史料等ほとんど見たことがない。市に残っている史料等があれば取り上げてほしい。

16 私は都内生まれで、若い頃読んだ恩方町（当時村）をテーマにした「気違い部落」という本を読んで八王子に興味をもち、のちに引越をして来た。一時恩方部落に室を借りて現地の人と生活をしたりした。したがって恩方村の昔のことをもっと知りたいと思う。

また鉄道ファンなのだが、八王子市内を昔走っていた電車の資料が少ないので探している。

17 江戸時代の八王子城について

18 数多くあった百貨店の撤退と地方商店との共存

19 バブル崩壊後の八王子の取り組み

20 戦時中のことを知りたい。

21 昔の里山生活がどんなものか知りたい。

22 ・織物育成へむけた教育施設と関係者

・自由民権運動

23 地名の由来

24 特に八王子市の産業についての詳述（以下問5 - 1の47の回答と同じ）

25 戦後合併した町村のその後

26 近代史における八王子市内の鉄道及び道路交通網の整備発達

27 甲州街道のいちょう並木について

28 南大沢在住だが、この地域が八王子市に管轄された歴史を知りたい。多摩市との住み分けはどのように決まったのか等。

29 八王子市の歴史を変えたターニングポイントや人物を知りたい。

30 姉妹都市について

31 ・浅川で見られる動植物今昔

・八王子であった水害、これから予想されること。

32 八王子市といえば「絹」「布」という認識はあるものの、その歴史を知る機会はあまりない。商店街を歩いてみると和装店や織物組合など目に入るが、足を踏み入れるにはなかなか勇気がいる。もっと市民に開放的な雰囲気があると良いと感じている。それが難しければ、「八王子ならではの布製品について、取り組みや歴史、市民も参加できること」など、もっと積極的なアピールがあるとさらに関心が深まると思う。

33 八王子市内商業の栄光と低迷

34 八王子市づくりに関係した取り組みの歴史について

35 八王子史跡、歴史的建造物等の保存に関する取り組みなど

- 36 八王子のサイエンスとテクノロジー史を是非。
- 37 20 数年前と比べると、街の景観が大変変わっているので、写真等で一目瞭然、比較できるものがあれば、とても面白いと思う。
- 38
- ・織物産業の発展要因
 - ・地元の武士等の活動状況
 - ・天皇の墓がある理由
 - ・多摩ニュータウンの歴史
- 39 大久保長安。全国区では悪代官のイメージが強い。子どもたちも死罪になっているが孫や親族は？資産没収されたが他国の分は？
- 40 八王子の織物産業は現在どうなのか。八王子の産業の特徴は何かなど。今八王子の産業の特徴は何かと問われた時、説明できる記述がほしい。
- 41 取りまとめてほしい事項
- ・近代における織物産業と金融機関の連携
 - ・織物の原料調達状況と農業の連携
 - ・織物産業の歴史、生成、盛衰の状況
 - ・金融機関の進出と盛衰の状況
 - ・八王子市は織物産業等と関連して盛衰があったのか。

②編集スタイル・方針

- 42 記録、史実、伝承の羅列でなく、物語り風な記述に重点をおいて、八王子の魅力を読みやすく、親しみやすい方向にもっていくことを心がけてはどうか。
- 43 市のこれまでの歴史を紹介するだけでなく、今後、未来をどうするか、次の世代にどのような八王子を残したいと考えているのか、という点に重点を置いていただきたい。過去の歴史は変えられない事実だが、大切なのは次の世代へ美しく住みやすい街（故郷）を残すことだと思う。そのためには、市政がどのような取り組みをするべきと考えているのか、また、住民が理想とするまちづくりとは何かを、たとえば市長と住民との対談特集を設けるなどして、住民参加型のページがたくさんあっても良いと思う。
- 44 まだ『資料編5 近現代1』を読んでいないための外れになるかもしれないが、時代の流れ（良いことも悪いことも、例えば都の機関が立川へ移転し続ける傾向の要因分析）をしっかりと後世に伝え、将来の八王子に活かせる史料等が整備されている形を希望する。
- 45 わかりやすい言葉で書いてほしい。難しい言い回しは興味をそがれる。
- 46 写真やイラストをまじえて八王子市の歴史をわかりやすく紹介してほしい。

③出版形態

- 47 大人向けだけでなく、小学生の子供にもわかるような、別冊という形でも刊行してもらえればと思う。絵や写真など入れて。
- 48 刊行後、セット販売されることを望む。
- 特に写真は別冊として、カラー等も入れリアルにわかることが大切だと思う。遺跡発掘の様子なども入れたらどうか。それと遺跡が残っているであろう開発制限地区なども入るとわかりやすいと思う。特に水の道は入れ込んだ方が、地

形の移り変わりがわかりやすいだろう。

- 49 取り上げてほしい内容は特にない。しかしながら、私も幼少の頃、当時居住していた地の郷土史について話を聞き、オリエンテーション方式を学ぶなどして興味を持った経緯がある。私はこの郷土史研究を通じ、文化社会への理解力が養えた気がする。ぜひ、市の次世代を担う方々への教育の貴重な資料となるよう工夫してほしい。たとえば、年代ごとに絵本方式や図鑑方式にするなど。
- 50 そんなに大部のものでは扱いかねる。一卷物の要約版を作ってほしい。

3. その他要望等

- 51 まず図書館で借りられるようにしてほしい。
- 52 「新八王子市史」の発刊の趣旨がよく理解できないが、私達が生きた時代(100年)の真実を記録で残し後世に伝えるべきと考える。(本件と離れるかもしれないが、音声や映像でも残してほしい。)
- 53 空襲と戦災の記録は、資料館にて見学している。素晴らしい八王子らしい物があるのだが、説明員の方々の接客努力をしていただければ…。見ていても聞かなくては教えてもらえない。

(3) 市史編さん事業とまちづくりの関係

今回の市史編さん事業は、市民の地域に対する理解を深め、市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的の一つとしています。このことに関連して八王子のまちづくりについて、あなたのお考えをお聞かせください。

問8 八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かしたまちづくりを進めることで、八王子の魅力をアピールすることができると思いますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	49.5
どちらかと言えばそう思う	34.7
あまりそうは思わない	10.5
そうは思わない	3.2
わからない	1.1
無回答	1.1

八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かしたまちづくりを進めることで、八王子の魅力をアピールすることができると思うか聞いたところ、「そう思う」がほぼ5割（49.5%）と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が3割台半ば（34.7%）で、両方を合わせると8割台半ば（84.2%）であった。

問9 地域コミュニティ育成のためには、地域の歴史・文化を知り、共有することが大切だと思いますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	50.5
どちらかと言えばそう思う	40.0
あまりそうは思わない	5.3
そうは思わない	3.2
わからない	0.0
無回答	1.1

地域コミュニティ育成のためには、地域の歴史・文化を知り、共有することが大切だと思うか聞いたところ、「そう思う」がほぼ5割(50.5%)と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が4割(40.0%)で、両方を合わせるとほぼ9割(90.5%)であった。

問10 まちづくりへの市民参加を進めるためには、市民が地域のことを知り、学ぶことができることが大切だと思いますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	58.9
どちらかと言えばそう思う	35.8
あまりそうは思わない	3.2
そうは思わない	0.0
わからない	1.1
無回答	1.1

まちづくりへの市民参加を進めるためには、市民が地域のことを知り、学ぶことができることが大切だと思うか聞いたところ、「そう思う」が6割弱(58.9%)と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が3割台半ば(35.8%)で、両方を合わせると9割台半ば(94.7%)であった。

問11 市史編さん事業が、市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的の一つとしていることについて、あなたが期待することや思うことがあれば、何でもご自由にお書きください。

- 1 市民参加により、参加した人や参加した人の周りの人が、地元八王子によりいっそう誇りを持てたら良いと思う。
- 2 自分の住む地域のことを知ることは、その土地への愛着を深め、市民としての誇りを持たせてくれると思う。
また、そのようになっていきたいと願う。
- 3 パネルで歴史写真をセレオなどで展示する機会をつくり、市民が八王子の発展に関心を持つ場があれば良いと思う。
- 4 それぞれの町でも歴史本を作っても良いのではないか。明神町などなつかしく読んだ。
- 5 タイムリーな講座の開設。
稲荷山通信によるおもしろいエピソードの紹介があると良い。
- 6 市政を知ること、地域を大切に作る心が生まれると思う。きれいな川を守っていこうと思えば清掃ボランティアに参加する人も増えると思うし、産業の発展のために勉強する意欲にもつながる。市史は、学校や市の施設には常時手に取れる状態で置いてあると良いと思う。例えば学校のゆとりの時間やホームルームでの教材としての活用を期待する。
また、市史は一定の期間ごとの見直しが必要だと思うので、この事業が100周年を過ぎても続いていくことを望む。
- 7 ニュータウンに住む人にとって、古い歴史、行事などに触れる機会が少ない。でもニュータウンの前は古い歴史が、生活があったと思う。まず、自分の住んでいる近くの歴史を知ること、興味を持って調べることと気づいた。
稲荷山通信を読んでとても興味がわいた。でも、この通信、市役所、出張所に置いてあっても決して読まなかったと思う。もっとPRのため、八王子の昔ばなしなどの発刊も期待する。
- 8 昭和45年に千代田区から転居して来たが、当時は通勤通学が可能な範囲で自然の環境が良いと思って八王子に来た。その時、団地やマンションができて八王子外からの人が多くベッドタウンとして転居して来たが、歴史まで考えていなかった。子どもが成長して地域に入学して、とんと昔話の先生が散田小の先生だったとか、八王子は八人の王子がいたからとか、信松院は松姫と関係があるとか、八王子城は北条家と関係があるとかを聞いて関心を持つようになった。(昔は相模原も一緒だったとか。)
時間に都合がいたら講座に出席したいと思っている。
団地や住宅の住人も、若い人は通勤通学のために都心に別居して老人ばかりの町になって、八王子生まれの人は少なく歴史を語る人もいなくて残念だ。
- 9 現在の市、町の課題について、市史から見えてきた先人の知恵を活かして、提言、実施してほしい。

- 10 やはり市史編さんとなると色々の資料が多く求められるので、市民一般に声をかけて、資料を提供していただきたいと思う。それによってもっと市の歴史が知られると思う。郷土資料館などでもまだまだ資料が少ないと感じる。
- 11 八王子市内の小中学校の社会科の授業に八王子市史を取り上げる。
- 12 テレビやインターネットを使ってアピールする。
- 13 時代小説が好きでよく読む。歴史には興味があり、多少は知っている心算だった。編さん室だよりを読み、自分の考えていたことが浅かったことに気がついた。市史の編さんは、多岐にわたり膨大な事業であることが少しわかってきた。事業の成功と多大な成果が得られるよう切に祈っている。
- 14 市報は毎回読んでいるつもりだが、八王子市の行っている市史編さん事業について、今までほとんど知らなかった。事業はすばらしいことなので、もう少し市民に広く知ってもらおう方法を考えてほしい。
- 15 自分自身がそうだが、まず何よりも「市史編さん事業」が大がかりに進められているという事実をもっと大々的にアピールすべきだと思う。どんなに立派なことを行い、素晴らしい市史ができ上がっても多くの市民が目にするのがなければ意味がないと思うので。
市民自らが行うまちづくりに貢献するという意味では、過去の歴史よりも、これから目指す新しい八王子の理想の姿を市民の声を中心に紹介し、より良いまちづくりに一役買えるような新しいスタイルの市史になってもらいたい。
- 16 生まれも育ちも八王子の方と、新しく来られた方とが連携して新しい視点も盛り込みながら伝統を生かしてほしい。
- 17 長い歴史から住民はいつの時代が幸せだったのかを考え、今後の方向付けをしてもらいたい。
- 18 たとえば現在の山梨県や埼玉県など隣接する周辺地域についての知識も並行して深めたい。
また、同時代の国際情勢も欠かせない。そういったある種の立体性を期待する。
- 19 八王子のまちづくりは行政の問題と考える。
例えば昔、八王子市にはたくさんのデパートが出店したが、今はすべてが撤退してしまった。八王子市に問題はなかったのだろうか。真実を記録として後世に知らせるため残すべきと考える。
- 20 市民が自分の町のまちづくりに参加すること、そしてそれが反映されることに意味があると思う。
- 21 1. 八王子市の歴史や文化を市民がよく理解することは非常に良いことと思う。
2. 一方、市史編さんの目的には、過去の史実を表記することはもちろんだが、そこに至った過程やその分析も大事で、現・次世代の発展にこれらの事象を活用することがさらに重要と考える。したがって、特に市街地や産業の盛衰については、その要因分析をして、市はもとより市民にもわかりやすく開示してほしい。
3. 八王子市史（昭和 38～43 年刊行）は字体が小さく読みにくいので、大きい活字で新八王子市史は刊行してほしい。
- 22 特に昭和 30 年以降の新住民の期待と結果に興味がある。

- 23 市民のみならず行政として、インフラ（道路と橋）の整備と活気のある商業施設の誘致を行ってほしい。
- 24 私自身、幼少の頃、第一線を退かれた方々から、快く郷土史へのご教授を承った経緯がある。
現代社会はそのような環境ではなく、共生すら難しい時代だ。
市民会議 2011 での議論の中でも、コミュニティの崩壊について、意見が相次いだ。このような事業を通じ、コミュニティの再構築に役立ててもらいたい。
- 25 後期高齢者という呼び方は不愉快である。
私も4分の3世紀生きているが、市史編さんに寄与できるならば協力するにやぶさかでない。
- 26 いつの頃だったか、繊維の町、ネクタイの町では有名だったのでは？八王子市に住み、35年だが機織り機から学ぶことは多い。（歴史と当時）
- 27 市民の市史への関心度がどれほどかわかりませんが、子どもにも理解でき、大人も子どもも自分たちが住む「八王子市」に興味を持ち、好きになるような内容の作品になることを期待する。
- 28 南大沢近隣での活用となると、どのようなまちづくりに役立てるのか具体的な案が浮かばない。
八王子市にある大学との共同作業のようなことは可能だろうか？
興味のあるボランティアへの公募は可能だろうか？
- 29 町会で団結。
- 30 成功事例だけではなく、過去の失敗などを知ることによって未来のまちづくりに生かしてほしい。
- 31 昔から伝わる良い風習などを若い世代が引き継いでいければ良いと思う。
- 32 市史の簡単なものを、八王子だよりも少しずつ連載してみてもどうか。
- 33 市の活性化。過去の成功例。
- 34 「そごう」の撤退から始まり、今、八王子の町全体の元気がない。何かを始めなければと思うが、具体的なことは今は思い浮かばない。
- 35 難しいことばかりでなく、毎日の生活に身近に感じられる事柄をわかりやすく伝えてもらえると良いと思う。
- 36 「学び、理解し、共有」に留まらず、それを発信する場や機会も必要と思う。そういった場の提供や、関心を持った人々が集まり実行に移していける機会まで示してこそ、本当に意味があり、役立つものであると感じる。
また、「伝統を生かしたまちづくり」というのは、八王子だからこそできること、その伝統に溢れたまち、と思っている。ただ、そのアピールが足りないし、「八王子ならではの伝統とは何か」が、いまひとつ曖昧と感じる。「伝統の中身」を明確に示して、はじめて共有でき、そこからスタートだと思う。
- 37 ・自分の住んでいる町が理解でき、愛着がわく。
・新しいまちづくりに役立つ。
・新しく町に来た人に町の歴史を伝えられる。
- 38 市は町の集まりなので、各町会に昔からある伝統文化を掘り起こし、再現や語

- り継ぐことは大変意義あることだと思う。それにより、新しく転入した人も早く八王子市民の仲間入りができると思う。
- 39 大学生や子育て中のママたちへ広めてほしい。
- 40 自然史的なものを期待している。
- 41 歴史を学び、まちづくりを推進することが重要。
- 42 単なる記録ではなく、難しいと思うが、ある意味、市民自身が温故知新を実感できるようなものになるのを期待する。あてがいぶちであれば、一部の人の満足感を得るだけに終わってしまうが、より広範な市民の関心をひくためには、(中高年の趣味の域を超す) 過去だけの回顧録ではない工夫が是非ほしいところだ。
- 43 市政が市のまちづくりを行うというこれまでの歴史にプラスして、実質的に市民がまちづくりを行う、並行した仕組みを作っていってほしいと思う。
- 44 住民の市への関心の深さが、いきいきとした八王子のまちづくりの原動力になると思うので、いろいろなイベント等で積極的な働きかけをしてほしい。
- 45 市史編さん事業自体の周知率はとても低いと思うので、まずは多くの人にこの事業を知ってもらうことが大切だと思う。
- 46 市史編さん事業というと難しい歴史のようなイメージを受けるので、もっととっつきやすい名前に変えたほうが誰でも手にとりやすいと思う。
- 47 プロジェクトが過度に延期されないこと。
- 48 自分の住んでいる街について、ひとつでも知ることが、郷土を思う気持ちや大切にすることを繋がると思う。小学生や中学生の子どもたちが街の歴史を知る機会があれば素晴らしいと思う。
- 49 行政が行う編さんには政治色が偏る。また、一庶民の生活に基づいた一般的な歴史を語るには地元の高齢者等の考えもヒアリングすることが重要。
- 50 若い世代が関心を持てるような身近な事象について、わかりやすい内容になると良いと思う。
- 51 昔からの参加できる行事を大切にすると良いのではないだろうか。楽しいことは皆大好きだと思うので。
- 52 私のような、他都道府県から来た人間が市の歴史を知る機会になると思う。
- 53 市史編さん事業は、多くの市民が注目している事業だと思う。市民講座、いちよう塾などの機会を捉えて、是非とも公開講座を開催してほしい。
- 54 八王子とゆかりがある全国市町村ともっと交流。千人同心関係はあるが、
- ・大久保長安が採掘した鉾山地区
 - ・松姫が育てた姫の嫁いだ先
 - ・シルクロード関係地
- (北条氏照関係は本家が小田原なので小田原が主体となる。あくまでも八王子中心。)
- 55 編さん事業の内容をオープンにして、市のことをもっと知りたい。
- 56 市民の意識向上
- 57 とにかく自分の町のことを。
- 58 市史というと硬いイメージがあるので、イベントや楽しめるような講座で八王

- 子市史を知ることができたら良いと思う。
- 59 若い人とかはあまり興味が無いと思うので難しいと思う。どこかで催しなどを
してアピールすれば人の目につき、興味が出てくる人もいると思う。
- 60 自分たちの住む町の歴史、風土をまとめたものがあれば、より身近に感じるこ
とができる。
- 61 イベントを増やしてほしい。
- 62 市史編さん事業が行われていることは知っていたが、それがまちづくりへの市
民参加を促すことを目的の一つとしているとは、知らなかったし、そう感じるこ
とも無かった。
市史編さん事業がアピールするものが、硬いしとっつきづらく思える。
- 63 市民自らが行うまちづくりに役立てることというが、個人の力は知れている。
大変難しいことと思う。波多野市長の時に八王子市コミュニティ振興会をつくり、
多数のコミュニティ指導者を育成し、その指導者に地域地域で活躍してもらいコ
ミュニティを拡大するねらいで私も今も活動しているが、指導者会員間の行事で
精一杯。とても地域にとはいかないのが現状だ。この市史をどう生かすか将来の
道筋がしっかりしないと、とても難しいと思う。
- 64 結局は関心ある者しか集まらないので、目的達成の期待は薄いのかな・・・と。
65 あまりリンクしない事項だと考える。市史を作るために活動するのではない。
66 市史編さん事業で取り組んでいる内容が子育てしている私の要望とはあまり
かかわらなそうなので特に期待する部分は無いと思う。
- 67 市史編さん事業と市民自らが行うまちづくりに役立てることがどのように結
びつくのか理解できない。
- 68 市史編さん事業が、市民自らが行うまちづくりに役立つのか疑問に感じる。
- 69 八王子に古くから住んでいる人が多い地区では、歴史や建物等を通して共通の
思いやコミュニケーションをとる上で役立つ点もあるのかと思うが、八王子以外
からの転入者の多い新しい住宅街の人々にとって、はたして市史は重要だろうか。
私自身他県から約 10 年前に転入した。八王子に骨を埋めるつもりでいるが、
市史を知ることよりも町全体が住みよくなることを希望してしまう。
もっとも市史のような物は折りにつけきちんと記録していかなければ色々な
物が忘れられ失われてしまうと思うので、必要な作業だと認識はしているつも
りだ。
ただ、まちづくりに役立つのかというやや力不足な気がしてしまう。
- 70 自分は八王子市の住民となって長くなく、市の歴史、文化、地域の事情等につ
いての知識が少ない中で、市史編さん事業の成果には期待するところが大きい。
また、まちづくりに参加する場合、地域の歴史や習慣、問題等についての情報・
知識が必要。まちづくりに多くの要素が関わってくるものであり、市史編さん
事業の成果のみにまちづくりの多くを依存することはできないと考える。

(4) 刊行物販売推進のための参考項目

問12 あなたは、『新八王子市史』が発刊されたら、購入したいと思いますか。(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
購入したいとは思わない	40.0
購入したいと思う	31.6
わからない	26.3
無回答	2.1

『新八王子市史』が発刊されたら、購入したいと思うか聞いたところ、「購入したいとは思わない」が4割(40.0%)で最も多く、次いで「購入したいと思う」が3割強(31.6%)、「わからない」が3割弱(26.3%)であった。

問12-1 問12で「購入したいと思う」とお答えの方にお聞きします。購入したいと思うものすべてに○をお付けください

(n=30)

	構成比(%)
自然 (本編)	60.0
近現代 (本編) (上下巻)	50.0
民俗 (本編)	46.7
近現代 (資料編) (全2巻)	43.3
原始・古代 (資料編)	23.3
近世 (本編) (上下巻)	23.3
近世 (資料編) (全2巻)	23.3
原始・古代 (本編)	16.7
中世 (本編)	13.3
中世 (資料編)	6.7

問12で『新八王子市史』が発刊されたら「購入したいと思う」と回答した方に、どの巻を購入したいと思うか聞いたところ、「自然(本編)」が6割(60.0%)と最も多く、次いで「近現代(本編)」が5割(50.0%)であった。

問12-2 問12で「購入したいと思う」とお答えの方にお聞きします。『新八王子市史』の販売場所について、どこを望みますか。(〇は1つだけ)

(n=30)

	構成比(%)
書店	56.7
八王子駅南口総合事務所	26.7
郷土資料館	6.7
市政資料室(市役所本庁舎)	3.3
市史編さん室(旧稻荷山小学校)	0.0
その他	6.7

【その他】

- ・ 八王子駅、京王八王子駅、高尾駅のコンコース
- ・ 市の各事務所

問12で『新八王子市史』が発刊されたら「購入したいと思う」と回答した方に、販売場所としてどこを望むか聞いたところ、「書店」が6割弱(56.7%)と最も多く、次いで「八王子駅南口総合事務所」が3割弱(26.7%)であった。

問13 市は市史編さん事業の成果として、『八王子市史研究創刊号』、『八王子市史研究第2号』、『村明細帳集成』、『恩方の民俗』、『新八王子市史 資料編5 近現代1』を刊行しました。

あなたは、これらの刊行物について知っていましたか。また持っていますか。(○はそれぞれ1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)			
	知らなかった	知っていたが、持っていない	持っている	無回答
八王子市史研究創刊号	83.2	15.8	1.1	0.0
八王子市史研究第2号	88.4	7.4	3.2	1.1
恩方の民俗	88.4	9.5	2.1	0.0
村明細帳集成	94.7	4.2	1.1	0.0
新八王子市史 資料編5 近現代1	83.2	12.6	4.2	0.0

市史編さん事業の刊行物について知っていたか、また持っているかを聞いたところ、すべての刊行物で「知らなかった」という回答が最も多かった。また、「持っている」という回答の割合が最も高かったのは、『新八王子市史 資料編5 近現代1』であった(4.2%)。

(5) 資史料の保存と活用

問14 市史編さん事業終了後の資史料の保存と活用について、市では、市民共有の貴重な財産として、専門施設（公文書館や総合情報館など）の整備も視野に入れながら、その保存・活用方法について検討しています。このことについて、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

1. 公文書館等の新設・郷土資料館の建て替えなど

- 1 小中学校や各地区の分庁舎などにも、八王子市の歴史がわかるようなコーナーがあれば良いと思う。
- 2 良いと思う。
- 3 市民がいつでも見たり、調べたりできる環境があると良いと思う。
小学校の授業で見学に行ったり、市民講座とセットでの案内（施設内の見学ツアー）、夏休みなどには親子での体験学習など、広く市民に開放してほしい。
- 4 警察の跡地など交通に便利なところに資料館などをつくってはどうか。府中の郷土の森のようにお祭りのことなども展示にしたら良いと思う。
- 5 関心があって購入できない人など、誰でも手に取れるように専門施設を整備されることが良いと思う。また図書館に行けば借りることができれば幸いと思う。
- 6 公文書館を建設するとともに、保存・活用方法については第三者委員会等で検討してはと思う。また郷土資料館との役割分担についても検討してはと思う。
- 7 大変良いことだと思う。郷土資料館の充実と早く実施してほしい。できれば市役所内に建てられればうれしい。
- 8 三多摩の中でも最も特異な歴史と自然を有する八王子としては、多少過大な費用をかけても貴重な資料は財産として残すべきと考える。
- 9 上に挙げられている公文書館や総合情報館の価値は他に代えられない。ぜひ整備していただきたい。
- 10 公文書館は必要。
- 11 良いことだと思う。
- 12 専門施設で大切に保存していただくことは良いことだと思うが、その資料をできる限り有効に利用することも大切だと思う。
- 13 資料管理は大変重要なので、公文書館等の専門施設は必要だと思う。専門家の協力を得て、後世に語り継げるような市史を作ってほしい。
- 14 専門施設設置に賛成する。
- 15 公共施設の設置は良いと思う。よく待合室に映像が流れているが、簡単な映像と説明文を放送してみてもどうだろうか。

2. 郷土資料館の充実

- 16 郷土資料館を建て直してほしい。
- 17 資史料の保存と活用は、新たな箱物をつくるのではなく、中央図書館あるいは郷土資料館の充実で行うべきと思う。
- 18 上野町の郷土資料館にたまに行く。建物も古く老朽化しているように思う。新

- しく建て替え、一部を資料室にしてはどうかと思う。
- 19 郷土資料館を建て直していただきたいと思う。時々見学に行くが、狭くて暗いイメージだ。小学生などが見学しやすい、わかりやすい、何度でも行きたくなるような展示室になれば良いと思う。
- 20 昨年度、市民会議 2011 の解散式の際、旧市民会館の向かい側にある郷土資料館について、前市長の黒須氏からも検討の発議があったと記憶している。単に史料を飾るのではなく、サイエンスドームのような、子供から大人まで楽しめるものを希望する。たとえば、都道府県は違うが、八王子市出身の私が小学校から高等学校までを過ごした香川県では、県の事業で埋蔵文化センター等の運営がされていた。見学だけのものは長続きしない。一工夫、二工夫を望む。
- 21 郷土資料館は以前行ったことがある。とても貴重な資料がたくさんあるのだが、それほど市民の方に知られているとは感じられなかった。もっとアピールするべきだと思う。
- 22 もっと身近なところに資料館、市立美術館がほしい。

3. 図書館等既存施設の活用

- 23 特に古い資料の保存には、専門施設の整備が必要だと思う。しかし施設の整備に莫大なお金を使うのもどうかと思うので、できれば個人の協力も得られると良いと思う。市民の共有財産ではあるが、市民の代表として個人が保管したり、学校に教育の一環として保存を依頼する等も良いと思う。
- 24 新しく施設を作るのではなく、市役所の本庁の中に専門施設を作るのはどうだろうか。
- 25 市役所の中に市史室のような施設（公文書館のようなもの）ができないだろうか。図書館や郷土資料館などではゆっくり研究したりできないと思う。
- 26 専門施設ではなく、どの図書館にも資料が置いてあるようにすれば、市民も市史について学びやすい。
- 27 今、八王子市内にある公共施設（図書館）の中に専門施設を作ったら良いのではないか。新しい施設を建てるとお金がかかるので、今ある施設を利用してコストをカット。
- 28 専門施設はあまり期待しません。これから人口も減少傾向にあるので余った小中学校の利活用や図書館等が良いと考える。
- 29 高齢者が集まる市民センターや福祉センター、図書館や小学校などに設置してはどうだろうか？
- 30 図書館などにあればと思う。
- 31 このように市史編さんに活用された貴重な資史料は経費削減も考えて、八王子市中央図書館などの既存の専門施設で保管し、将来発掘された新たな資料を補填しながら活用規定を設けて今後の活用に対応することが良いと思う。
- 32 既存の建物を使ってほしい。新しい「箱もの」はいらない。
- 33 新しく「箱もの」を作ることには反対だ。地域の図書館、コミュニティセンター内で工夫するのが良いと思う。その方がより身近になる。

- 34 南大沢図書館に保管して、閲覧できるようにしてもらえればありがたい。
- 35 ・購入するには敷居が高いが、一度は読んでみたいと思うし、まず、そういった資料が刊行されていること自体知らなかった。もっと気軽に皆が触れる機会が必要と感ずるので、公共図書館などで、誰もが手に取りやすい環境をつくるのが大切と思う。(蔵書などではしまい込まれたり、そもそも、そういった史料の存在すら知られないままということになりそうなので。)
- ・一方で、後世のための貴重な史料として、きちんと保管しておく必要性、重要性も感ずる。その際は専門施設、資料館など、書物や史料の扱いに慣れている機関に依頼することが大切と思う。
- 2つの方向性で考えるというのはどうだろうか。
- 36 多くの人が手にとって読めるように八王子市の各図書館に置くのは無理なのだろうか。(豪華装丁ではなく一般の本的なもの)
- 37 そもそも私の住んでいる堀之内界隈は図書館などのインフラが脆弱で、由木東事務所なども遠く、開発が進む東山地区での移動図書館なども含めた見直しを考えていただきたい。ある程度身近な場所にこういった資料がないと心も離れて行ってしまいがちだ。
- 38 私が一番身近に利用しているのは市民図書館なので、そういう所で新刊書などを特集するようにコーナーを作って目を通せるような機会を作ってくれば専門施設にわざわざ出かけなくてもよいので助かる。
- 39 図書館で閲覧できるようにしてほしい。
- 40 図書館、図書館分室には是非おいてほしい。また、多くの人が並行して読めるように1冊でなく複数の蔵書をお願いしたい。
- 41 各図書館で閲覧できれば、気軽に目にする機会ができると思う。あと、公立小学校や中学校に配置すれば、道徳やレクリエーションの時間に活用できる部分があると思う。
- 42 コピーを各図書館におき、適時閲覧できるようにしてほしい。
- 43 個人で購入して保存していくことは困難であると思う。郷土資料館や図書館等で自由に閲覧できれば良いと思う。
- 44 図書館の保存や保管。もう少し借りやすく、また見やすく。

4. デジタル化を希望

- 45 だれもが忙しい毎日を送る現代、書館などに保管するだけでは多くの人の目に触れることは期待できないと思う。その場にわざわざ出向かなければ手に取って読むことができないのは利便性・普及性に欠けると考ずる。インターネットという大変便利な情報源が身近になっている現在は、それを活用しない手はないと思う。私自身、市民生活についての調べものをする際、いちばん始めに手を付けるのがPCを開き、インターネットに接続して八王子市のホームページを見ることである。

書物をネット上で公開するにはセキュリティ問題が必ず絡んでくると思うが、大学の論文をネットで公開したり、映像・画像共有なども日常茶飯事であるので、

市民のみならず、これから八王子へ移住を考えている人や興味を持つ人たちが気軽にアクセスできるインターネットを通じての書物の活用は、広く周知する意味でも大変有効な手段であると感じる。

- 46 高精度画像でデジタル保存もして、活用しやすくすれば良いのでは。
- 47 市の歴史を八王子市のホームページにのせて、公開できないものだろうか。売れないから金にはならないが。わたしの知り合いは、八王子市に住もうと考えたとき、歴史等を調べてみても、なかなか情報が入らなくて困ったそうだ。八王子市民だけでなく外部の方も簡単に八王子市の歴史を理解できることは考えるべきだ。
- 48 デジタル化によるインターネットでのアクセスができれば良いと思う。
- 49 新しい施設は不要。紙を刷るのは最低限にしてほしい。また、資料を全て図書館のサイトで公開してほしい。見ようとする人が見られればよい。
- 50 せっかく作ったものが、専門施設のみで陳腐化するのはもったいないと思う。PDF等で電子化して、誰でもインターネット経由で閲覧できるようにするのも良いのでは。

5. その他

- 51 大切に保存してほしい
- 52 これからの子供達を使いやすい状態になると良いかと思う。
- 53 ただ保存するだけでは宝の持ち腐れになってしまうと思うので、小学生や中学生に見学させたり、みなさんが知るきっかけを作るべきだと思う。
- 54 むずかしそう。わかりやすくイラストをのせたりふりがなをつけたりしてはどうだろうか。
- 55 ・友好姉妹都市に寄贈 → 大災害で紛失となっても残せる。
・希望の教育施設に配置 → 大学、高校を中心に小・中学校などにも。
- 56 八王子市の活性化、再生にどう生かすことができるのか、昔からの八王子の良さや最近注目されている高尾山との連携等、活用方法は多岐にわたって生かしたら良いと思う。(具体的には特になし)
- 57 市の公文書の保存年限規定の見直しがまず基本。現物は東京都の一括保存が良い。
- 58 今までと同じようなものであれば、あまり意味がないと思う。内容に変わることはないにしても、もう少し詳しく、調査対象にすべきことを早めに絞り込み、調査研究を進めるべきであり、地域の資料館や美術館等の博物館と連携を図るべきである。調査を進める中でも住民を参加させることはできるし、強力な協力が必要。
- 59 手軽に見られるようにしてほしい。
- 60 八王子が“地元”と誇れるように、子どもが“地元”について関心・興味を持ったときに、学習に容易に活用できるような取り組みも必要と感じる。地域の成り立ち、歴史を後生に残すために、きちんとした研究と論文・刊行物は絶対に必要であり、市政の一部として続けるべきと考える。それと同時に、子どもが容易

に読める身近な八王子史もあればと感じている。

※補足：特定の企業・刊行物の名前を囲繞して恐縮だが、子どもは学研等が出版する漫画で描かれた科学・歴史の本をよく読む。科学も歴史もまだ学校で学習が始まっていない学年だが、一生懸命読んでいます。面白い、知りたい意欲をかき立ててくれるようだ。地元で遊びながら学べるのは幼少期だけだ。そういう年齢のときに郷土について関心を持てるようなきっかけがあることは大事と考える。学生・社会人になれば、たとえ八王子に住んでいても生活の実態は地域から離れ、地域・郷土に関心を持つことはまれと思うからだ。

- 61 広告、地元からのアピールなどが必要では？
- 62 必要最低限の予算で行うこと。
- 63 編さん事業は大変ご苦労だと思う。興味もあるが、資料を目にする機会がない。
- 64 市民が気軽に自由に閲覧できるような場所に保存するのが良いと思う。

問15 市史編さん事業について、その他ご意見・ご要望があればお書きください。

- 1 こういったことが行われていることを知らなかった。同じように知らない人も多くいると思うので、もっとPRしても良いと思う。
- 2 関連する内容について市民講座などをやってほしい。学校や地域への回覧などへ積極的にアピールしたら良いと思う。市民が自らの暮らす街について知ることはとても良いことであるし、大事なことであると思う。
- 3 私もそうだったように、このような事業が行われていることを知らない市民も多くいると思う。たとえば本の売上げを資料の保存のために使うとして、多くの人に知ってもらうこと（宣伝？）も必要だと思う。
- 4 毎回、広報に市史編さん事業についてのコラムを載せる。ゆるキャラが紹介するなどしたら興味がわきやすくなる。
- 5 せっかく大々的に取り組む事業であれば、より多くの人に見てもらえることを最重要課題として掲げるべきと思う。
- 6 市史の基本構想にあるとおり、これは市民大勢の方に理解してもらい、興味をもってもらい、読んでもらわなければ意味が無いため、そのPRや購入価格等を十分考えてほしい。
- 7 もっと積極的にアピールしてほしい。
- 8 八王子の歴史などに興味のなかった人、八王子在住期間の短い人にも気軽に読んでもらえるようにアピールしてほしい。
- 9 活動状況を含め、その存在が知られていないと思う。もっとPRを望む。
- 10 自分が住んでいる町について、意外と知らないと感じた。それを知らせようとする史料があり、八王子がそういう取り組みをしているということも知らなかった。もったいないことだと思うと同時に、もっと関わりたいと思ったし、市民と市との間の連携が、お互いにまだ足りていないのかなと感じた。市民としても、市の取り組みにもっと注目すべきと反省したし、市のアピールももっといろいろな方面からたくさんあると、知る機会も増えると感じた。
- 11 編さんそのことが悪いことではないが、その後、どうアピールしていくかが重要ではないか。作りました、だけでは市民のみならず、よその人たちにはわからない。どのように知らしめていくかを同時に考えることが必要ではないかと思う。
- 12 歴史書としての重厚さも必要だが、写真を多く入れたり、カラー化したり、読みやすい表現を使うなど、万人に親しめるものにしてほしい。
- 13 知らないことがたくさん。皆に知ってもらうことが一番。良い方法を探してほしい。
- 14 この事業の進展について新たにわかったことを順次、市の広報などで開示してほしい。
- 15 もともと歴史に興味は無いが、自分の住んでいる土地が昔はどんな所だったのかを知ると、時代の流れを感じ愛着がわくと思う。難しい資料を見なくても、写真パネルを駅など公共の場で展示すれば、歴史に興味のない人々にも目で知る機会ができると思う。

- 16 八王子の自然や歴史、文化を活かしたイベントやまつりの開催に役立ち、街が発展していけばと思う。紙などの資料として残るものはもちろんとても大切だが、実際にはやはり参加して触れてというのが心に残っていくし、そこから興味が広がっていくと考える。
- 17 八王子まつり、いちょうまつり等、皆が集まるところにパネル展。無関心の人も見るかも。
- 18 市史編さん事業は必要である。次世代には伝えられるように。ディスカッションや講座もたくさん行ってほしい。
- 19 せっかくお金と時間と人手をかけて作るのであるから、配布して読まずに捨てられてしまうものではなく、よりたくさんの人に興味をもってもらい読んでもらえるものにしてほしい。現状、(私を含め)八王子市史の認知度は低い気がする。今のままで良いはずはないので、広報のやり方をもっと工夫したほうが良いと思う。
- 20 成果をテーマパークのように楽しめる形で公開してほしい。
- 21 とりわけ若い世代には市史編さんと言われてもピンとくることはなく、刊行物があるようだが、すすんで読んでみようと思う人は少ないのではないかと思う。ビデオのようなもので眼に入ってくるものが市役所などの待ち時間などで流れていると自然に見ることができ、八王子の歴史に触れることができるのにと考えた。
- 22 市史が身近に感じられ楽しく学べるようなイベントを期待している。
- 23 いかめしい学術的な書物ではなく、親しみやすい、わかりやすいものにしてほしい。
- 24 市史というと難しく読みにくいというイメージがあるが、わかりやすく読みやすい市史の完成を望む。
- 25 知らなかった。購入することはないと思う。堅苦しく難しそう。小学生(子ども)が読めるようにわかりやすくフリガナをふってほしいと思う。
- 26 活動が広まりにくい事業だと思う。八王子出身の有名人を起用するなど若者にもわかりやすくお願いしたい。
- 27 高校生、大学生にもなんらかの協力をしてもらえば、将来の八王子のためになり、視点も斬新なものがあるかもしれない。
- 28 ただ刊行物を買って読むことも市にますます愛着がわくかもしれないが、ボランティア活動等、参加する機会があれば、より深く市民が自らの住んでいる地域に人々にかかわり、まちづくりに役立てるのではないだろうか。
- 29 ・市民の参画をはかりやすくしてほしい。
(会社員も参加できるように土・日曜日にセミナー会議を実施等)
・歴史を調べるだけでなく、現在のまちづくりへの提言を行ってほしい。
・市史編さんの経費の開示、費用対効果について市民からの意見ヒアリング。
(今回のアンケートの質問の一つに入れるべき。例えば、「市史編さんに〇〇億円の予算が使われますが、必要な事業だと思いますか。」)
- 30 八王子のことを知ってもらうために、中学生のカリキュラムの中に「八王子を

知る」授業を入れたほうが良いのではないか。また、その授業の講師は市史編さん事業をしている人たちが先生になる。

31 小中学校の学習支援にも使いやすいものであってほしい。

32 学校の授業などにも組み入れてほしい。どんどん郷土のことを教えるべきだと思う。

33 ①市史がもう少し簡単に手に入るようにしてほしい。

②八王子市の歴史を小中学校の中に取り入れていったらどうか。

市史の編さん事業は八王子市にとって大変重要な仕事として確信している。もう少し人材を投入し早く発行してほしい。

34 八王子市の歴史を知ることは住民として興味深く、ある意味では当然の権利でもあると思うが、できれば小学校の授業にも取り入れて教育の一環に組み込み、自分たちの町・市への関心を深めてもらうことが、長い目で見た将来的な市の発展に繋がると思う。

35 市史の採用基準の明確化。市史の記録媒体の紙から電子化。資料の映像化、音の記録保存化。「生の声」の録音記録保存化。

36 音声や映像でも残してほしいと思う。

37 武田信玄の六女松姫が織田軍に敗れ、信州高遠から山梨を経て八王子におちのびた。その後、徳川家康の援助を受け、ひっそりと暮らす中で周囲の子ども達に読み書きを教え、ともに蚕を飼い、機を織ったときく。現在の織都八王子、学都八王子の礎を築く働きであったと思う。市史の中でも、もっともっと宣揚されても良いのではないか。資料も少ないと思われるが、是非とも今一步、力を入れてもらいたい。

38 手紙、日記など生の資料を極力入れてほしい。

39 町ごとの歴史も是非載せてほしい。

40 生まれた町のことを知りたいと思っている。広報に発行された時に発売日などが載っていても広報を閉じてしまうと忘れてしまう。回覧板で町内に回したらもっと多くの人に知られると思う。「八王子ことば」を話す人が少なくなり、大阪弁などの人が多くなっている。八王子なので八王子の昔ながらのことばは子どもたちにも伝えたほうが良いと思う。私の言葉は甲州弁に似ている。ルーツも知りたいと思う。

41 小学生の頃に、八王子の戦時中と終戦直後の写真を見る機会があり、30歳を過ぎた今でも心に刻まれている。市民にとってかけがえのない財産なので、期待している。

42 時空（年代の差や地域性）を越え、末長い影響力を発揮する事業だと考えている。

43 市史編さん事業は大変重要な事業と考えるが、膨大な時間と費用がかかるため、編さんに当たっては、この資料が今後の市の発展に活かせるものになることを願っている。

44 広報に編さんの作業の様子が載っていた。大変ほのぼのとした一場面で好印象を感じている。

- 45 八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かした商業施策を進めるべき。
- 46 今までに記述した点を含めて、活字離れが進む時代に予算をかけて事業を遂行していく価値が（地理的にも年齢的にも）広く市民に理解してもらえるような形を切望している。
- 47 市史編さんという地味な仕事ではあるが、八王子市の古くからの市民が汗と涙の苦勞の基であることを思うと素晴らしい仕事であると思う。
- 48 教育者やOBの方だけでなく、学歴は高くなくても内容によってオンリーワンの方からの意見も。八王子から見るだけでなく、周辺、関東、全国などからの参考意見も。視野が広がる。
- 49 自分が暮らしている市の歴史はたとえ途中から引越してきて暮らすようになっても知りたいのだが、何か難しいイメージを持ってしまうので手近に接する機会があれば良いのにと願う。
- 50 八王子市は、戦後のベッドタウン化、企業の誘致、大学等の誘致により大きく発展してきたことと思う。3世代4世代以上という市民はおそらく少数派かと思う。
- 市史編さん事業は、この事業が「市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的のひとつとしていること」について、おそらく市民の大勢である1世代2世代の市民がどのように参画すればよいか不明な点が多数ある。いきなり編さん事業が前述していることを主目的としているなら無理があるかと思う。
- あくまで編さん事業は、八王子の歴史を後世に伝える一事業と位置づけられた方が良いのではないかと思う。その結果、その事業について市民が参画することにより郷土愛と結びつき、市民が行うまちづくりに発展していくことだと思う。
- 編さん事業の主目的がぼやけて見えてこないで、そこに結びつけるならば、もう少し丁寧な説明が必要かと思う。
- 51 重要とは思いますが、経費をあまりかけないで行われることを希望する。
- 52 市史編さん事業は大学の研究室の研究活動のように思える。まちづくりの参考になることを考えれば、もう少し市民レベルウェイトや内容に考慮したらいかか。

平成 24 年度市政モニター 第 2 回アンケート結果
平成 24 年 12 月

発行 八王子市総合政策部政策審議室（広聴担当）
八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042（620）7411（直通）
F A X 042（620）7322
